

ワンドロップ小学校 ニュースレター 7か月半ぶりの授業 5年生

2020年11月5日



Bangladeshではコロナウイルス感染防止のため、今なお学校の閉鎖が続いています。

なんと3月の閉鎖宣言からもう7か月半たちました。 Bangladeshの学校は1月に始まり、12月にその学年が終了します。2020年の生徒たちはほとんど学校生活がありません。なのに、政府は最近、期末の終了テストの実施を取りやめる決定を出しました。すべての子どもたちが試験なしで進級します。

異常事態ですが、子どもたちの安全のためには仕方がないのでしょうか。



さて、気がかりなのは、ワンドロップ小学校の5年生たちはすんなりと6年生に進級することは不可能だということです。

小学校は5年生までで、ここまでが義務教育です。義務教育終了の認定をワンドロップ独自で出すことができないのです。ワンドロップ小学校が無認可の新設校なので、5年生たちを他の小学校で受け入れてもらわなければなりません。そこで義務教育終了証を出してもらい、6年生（中学校）に進級します。

5年生18名の半数が小学校で勉強を終え、進学せずに働きます。残りの半数が進学します。ただし、小学校終了の学力が伴っていなければ他の小学校に受け入れてもらえません。そこで、進学しようとしている生徒たちを中心に、学力をつけてもらう特訓、補修授業を開始しました。

現地スタッフのタリクさんが、先生たちの提案に耳を傾けてくれて実現にいたりました。

画像で見る生徒たちは私服で学校にきています。学校を正規の形で再開するのは認められないので、「青空教室」のようにして集まっています。コロナ



対策のため距離をとって座り、学習をしています。

進学しない生徒たちも、イレギュラーではありますが、授業に参加できます。

子どもたちは学校が大好きです。できることなら、1年生から4年生の生徒たちにも勉強をさせてやれたらと思います。早く閉鎖が解かれ、全学年の生徒が学べるようになることを願っています。学校で給食を食べて、体育、美術、音楽などの授業で、子どもたちの歓声が聞こえてくるように。そして、一日も早く世界中がコロナウイルスから開放をされますように。

早く、みんなに会いに行きたいです。



現地スタッフと生徒たち（ダッカからも先生がゲスト参加してくれました。中央ルニ校長の両隣の二人）

2020. 10. 29

《今後の支援活動》

現地のスタッフによると、政府の食糧援助が定期的に行われており、経済も動きはじめ、大人たちも仕事を始めました。様子を見ながらワンドロップ食糧支援を継続します。また、これから寒くなってくるので、毛布などの支援も行っていく予定です。引き続き、皆様のご協力をお願いいたします。

OneDrop(バングラデシュ教育支援の会)代表
大西 登志子

ワンドロップの HP

<https://onedropbangladesh.jimdofree.com/>

ワンドロップのブログ

<http://onedropbangla.seesaa.net/>

FaceBook

<https://www.facebook.com/groups/266407081009954>

ご支援をお願いいただける方は、下記宛てにご連絡くださるか、下記口座にお振込みいただければ幸いです。

One Drop ワンドロップ教育支援の会 大西登志子
兵庫県加古川市東神吉町神吉 1453 電話：090-6603-6721
Eメール：onedropbangla@yahoo.co.jp

〈振込先〉 ゆうちょ銀行（郵便局から）
口座番号：14270-03988151
口座名称：ワンドロップ

〈他金融機関から〉
ゆうちょ銀行
普通預金 四二八店（ヨンニハチ店）
口座番号 0398815

《今後の予定》

- ① 11月11日（兵庫教育大学附属中学校の総合学習にワンドロップが参加します。）オリエンテーションで活動を説明します。
- ② 11月13日 加古川寺家町商店街にある「びいプラス」（BANBAN 放送コミュニティールーム）で写真展をします。（11月23日まで）
- ③ 11月15日 「きすみのマルシェ」でワンドロップはカレーの販売をします。
小野市鞆溪（くわたに）温泉前の駐車スペース 10:00～14:00
- ④ 12月19日～1月16日まで 小野市役所内ウェルカムギャラリーにて活動報告写真展を開催します
- ⑤ 2月7日 人権講演会でワンドロップのお話をします。
「小野市コミセンいちば」（集会所）

詳細はHP.ブログなどで発信していきます。